

科目名	保育原理（卒業必修：保育士必修）				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2023年度前期	単位数	2		
担当教員	市川 和彦				
内容および計画	<p>本科目は、保育者になるための最低限の知識、理論を学習し、保育現場における原理と特性、環境、方法について理解していく。保育の歴史、理念と概念、子最善の利益と保育、子どもの家庭福祉と保育、保育の社会的役割と責任について学ぶとともに、現代における様々な保育問題について理解する。</p>				
1	保育の理念と概念、目的①（保育士の働く場と子どもの最善の利益追求）				
2	保育の理念と概念、目的②（児童の権利に関する条約）意義と目的（1）保育の意義と保護者の協働				
3	保育の思想と歴史①（西欧を中心に）				
4	保育の思想と歴史②（西欧を中心に）				
5	保育の思想と歴史③（日本を中心に）				
6	保育と関係法令、制度（児童福祉法、子育て支援新制度等）				
7	保育の特性と実施体制				
8	保育所保育指針、幼稚園教育要領、認定子ども園教育・保育要領				
9	保育の目標と方法、環境				
10	子どもの家庭福祉、保護者支援				
11	施設保育士と養護				
12	保育課程と指導計画の意義と方法				
13	記録、省察、評価の意義と方法				
14	諸外国の保育の現状（スウェーデン、ノルウェー、イギリス、イタリア、アメリカ）				
15	日本の保育の現状と課題（少子化、待機児童、障がい児保育、人材（保育士）の確保、子どもの虐待）				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『新・基本保育シリーズ①保育原理』	児童育成協会監修	中央法規	9784805857816	2019
	『幼稚園教育要領』平成29年告示	文部科学省	フレーベル館	978-4577814222	2017
	『保育所保育指針』平成29年告示	厚生労働省	フレーベル	978-4577814239	2017
	『幼保連携型認定子ども園、教育・保育要領』平成29年度告示	厚生労働省	フレーベル館	978-4577814246	2017
参考書					
成績評価					
	評価方法				割合(%)
	総合評価レポート				100
学習到達目標	<p>保育の意義と目的、保育思想とその歴史的変遷等とおして、保育者になるための最低限の知識や理論を理解し、保育を取り巻く状況の今日的な課題について記述できること目的とする。</p>				

先修条件	特になし
実務経験	実務経験あり：障害児入所施設に4年、児童養護施設に3年間児童指導員として身を置き保育士とともにケアワークに従事してきた。
その他	